

激動の30年、多様な課題への提案が行われ、介護福祉学のインパクトが見えた。

超高齢社会と人口減少、介護人材と国際化、生活支援の対象と概念の拡大、技術革新とテクノロジー、社会課題としての災害対応、研究・実践のリアルと未来を示す全7章。

日本介護福祉学会 編

介護福祉学の到達点と将来像

— 実践知と専門性に基づく質の確保 —

深刻な介護の担い手不足の中で、「介護福祉の質」の確保のために、「介護福祉学」は新たな課題に応えなければならない状況にあるといえる。

そこで、日本介護福祉学会によって蓄積された「実践知」ならびに「介護福祉の専門性」に関する知見を踏まえ、科学的根拠のあるデータを分析する事で具体的な解決策の提示を試みたのが本書である。「介護福祉学」の到達点を明らかにするとともに、介護福祉の将来像を展望した一冊。

A5判並製カバー312頁、9月刊行、本体価格2,800円（税別）、ISBN 978-4-623-09828-6

まえがき

第1章 理論・制度・歴史

- 1 介護福祉学の理論のあゆみと到達点（太田貞司）
- 2 介護福祉学の現状と課題（畑 亮輔）
—学会誌『介護福祉学』論壇「介護福祉学の構築に向けて」を通じた検討
- 3 介護福祉学と〈自立支援〉理念のあゆみと展望（上之園佳子）
- 4 社会参加を支援する介護福祉実践の展望（堀 崇樹）

第2章 介護運営管理

- 1 介護保険が変えた介護運営管理（海老澤圭視）
—契約制度は措置制度を超えたか
- 2 地域介護のサービスと担い手の確保（坂本毅啓）
- 3 職員の就労継続を図る介護運営管理（内田和宏）
- 4 高齢者施設とコミュニティ意識（小野信夫・井尻隆夫）
—パンデミックを乗り越えて

第3章 高齢者・障害児者への介護

- 1 高齢者・障害児者への介護の理念と変遷（本名 靖）
- 2 障害者の就労支援と介護福祉職への期待（水谷なおみ）
- 3 障害のある人の高齢化と介護（木村あい）
- 4 認知症の介護（堀江竜弥）

第4章 家族介護・在宅介護への支援

- 1 家族介護・在宅介護の支援施策は充実してきたか（新井康友）
- 2 なぜ家族介護者への支援が必要なのか（午頭潤子）

- 3 家族介護者への支援（杉原久仁子）
- 4 今後の家族介護施策に求められること（武田卓也）

第5章 生活支援技術

- 1 介護福祉職として考える生活支援技術（吉藤 郁）
- 2 生活支援技術実践に求められるもの（二瓶さやか）
- 3 生活支援技術とICT（古川和稔）
- 4 生活支援技術と介護過程の展開（及川ゆり子）

第6章 介護福祉教育・人材育成

- 1 介護福祉士養成の現在地と養成カリキュラム再考への期待（嵯崎京子）
- 2 外国人介護人材の受入れ状況と人材育成の課題（伊藤優子）
- 3 介護福祉職のキャリアデザインと人材育成の現状と展望（野田由佳里）
- 4 実践現場における人材育成（藤江慎二）
—介護職チームのケアの質向上を基にした介護職の育成

第7章 災害・介護福祉

- 1 災害時における介護福祉の対応課題（鈴木俊文）
- 2 災害対応と介護福祉施設（早坂聡久）
- 3 避難所での災害支援活動と介護福祉実践（八木裕子）
- 4 地域と災害・介護福祉（増田和高）

あとがき
索引

発行：株式会社ミネルヴァ書房
TEL:075-581-0661/FAX:075-581-8379